

社会福祉法人千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL0852-24-8820 FAX0852-24-8825
URL <http://www.9.ocn.ne.jp/chidori/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

新年のご挨拶に合わせ 「夏祭りと顧客満足」

千鳥福祉会 理事長 山本昌子

後援会の皆さま、新年あけましておめでとうございます。頂きました数々のご支援・ご指導に心からお礼を申し上げます。そして今年も皆様方によりまして実りの多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

新しい年が始まって、うれしいことが一つありました。平成ニュータウン子ども会の役員の方から、「持田小学校の三年生が地域行事について発表する計画があって、『千鳥福祉会のサマーフェスタ』について調べたいので、お邪魔したいそうですがどうですか。」という連絡がありました。子供たちに地域の行事として認めてもらうなんて!夢のようでした。これが10年の力ですね。

そして、今年は1年目に入りました。物事10年続ければ大丈夫と言います。しかし、これだけ世の中の変化が内外ともに激しくなってくると、例年通りの進めようがあれば11年目も順調にいくという保証などない、安易な考えではいけないと思うようになりました。改めて「夏祭りで提供したい価値」について関わるものが話合う必要がある。とは申し上げても祭りまでに出会える機会はワンチャンス「後援会総会」です。総会の折に少し時間を頂いて、千鳥福祉会が少しかじって



いる“自由な発言と革新を生み出す話し合い形式”“コーヒーを飲みながら語り合う研修会「ワールドカフェ」を企画したいと思います。お題は・祭りの目的?・お客様はだれ?・どのお客様にどんな楽しさを?・実績はどう評価する?・ちょっと難しい。

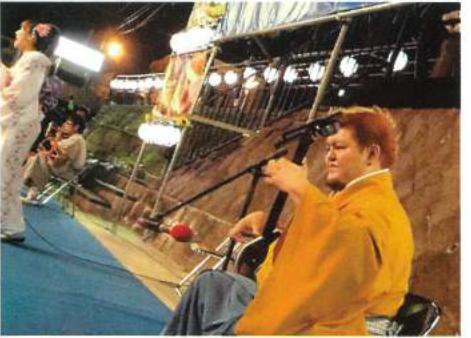
あれだけのエネルギーをかけるのだから先の姿をイメージしながら皆さんと試行錯誤したいし、そして積み上げてこそっと大きな喜びを共有することに繋がる。

これは確信めいたもので、ここを11年目の出発点にしたいと考えました。

やってきたことをしっかりと振り返り、そこから計画を立て、実行して、指標に照らし合わせて評価する、そして見直す。企業にとっては当たり前の流れだと思うのですが、福祉にもなければならないものと感じてきました。それは後援会のみなさんとの関わりの中で福祉の甘さとして気づかせていただいた「宝」です。

どうか、今年も一緒に歩ませていただきますようよろしくお願い致します。

トピック! やすぎ節屋



松崎耕士

自分が小さい頃から父親がやっていて常に生活中にあった安来節。始めるまでは抵抗がありました。

高校卒業と同時に何となく始めた安来節。やればやるほどハマっていって、気が付けばこの春でやり始めて丸14年になります。

これまで、安来節のお陰で色々な経験をすることができました。様々な舞

台や沢山の人達の前で演奏をさせてもらったり、沢山の人との出会いもありました。中でも印象に残っているのは、昨年3月11日の大地震の地である東北での演奏です。六人でお邪魔し、仮設住宅を三ヶ所回って安来節を見て頂きました。皆さんにはとても暖かく迎えて頂き、とても喜んでもらえたと思います。

実際の被災現場にも立ちましたが、改めて自然の力を感じ、恐怖すら感じました。これからも一生安来節をやっていくと思います。その中で楽しい事、辛い事色々沢山あると思いますが、自分なりに一生懸命やり、後悔の無い安来節人生を送ろうと思います。みんなで幸せになりましょう! (TEL-FAX0854-28-6788)

耳寄り情報!

「日建学院の公認スクール」 を始めました。

●宅地建物取引主任 ●FP2級試験 ●保育士
●商業簿記 ●土地家屋調査士 ●IT関連
あらゆる資格試験準備・語学・学力アップのお手伝いを致します。
サクセス企画有限会社 松江市菅田町142SKビル2F
0852-21-2040

Support News

後援会 総会 開催



写真提供/多久和 宏朋氏

世界と比べて見れば…

千鳥福祉会後援会 会長 平成24年の新しい年に入
稻塚 公郎 り皆様お元気でご活躍のこと
(松江土建株式会社相談役) とお慶び申しあげます。後援
会は昨年記念すべき10周年

を迎えました。振り返って見てこれまでに多くの事業が実施され、その都度それに参加していただいた方々の多さに改めて驚き、感謝の念を強く抱く次第であります。何時までも支え合う気持ちがつながって行くことを念願しております。

さて混迷する日本の政治や経済、広がる一方の国民の生活不安など、これからどんな世の中になるのか考えさせられる昨今であります。かつて日本は世界一の経済強国でした。アジアの人々にとっては、自分たちの将来の発展への道を教えてくれた先輩でもあり、怖い存在でもあったかも知れません。しかし、今や手の届くところにきた仲間であります。

先日ある大学の先生がこの国の長所や抱えている課題は、世界の国々と比べて見れば良くわかると書いておられました。そこで米国や中国など主要10カ国の政治、経済から環境、文化に至るまでの30項目について、5段階評価で比べて見れば、トップの5点には平和、治安、工業、医療などがあり、4点は雇用、学力、学術、ファンション、IT。3点は評価が難しいですが財政、交通、環境、食生活、所得格差、文化一般など。あまり良くない2点は、外交、防衛力、観光、スポーツ、言語、住宅などで、最低水準の1点には、政治の機

能、女性の社会進出、農業、余暇などが入っています。この評価には少し異なったご意見もあるかも知れませんが、5点の平和、治安では平和憲法がり、殺人事件の発生件数が非常に少なく安全だそうです。医療も平均寿命が世界一。工業も追い上げられているがトップ水準で1人当たり付加価値額もトップ。一方1点の項目の中の女性の社会進出が遅れていることはよく言われていますが、もう一度生まれても女性でいたいという割合が、10カ国の中で一番高いです。農業は外国との競争力が弱くなり改革が必要です。余暇は折角の有給休暇を消化しない人が多いのが現状で改善の余地がありそう。しかし一番問題なのは、やはり主要国で最低の政治機能であります。イタリアよりも政権交代が頻繁にあり、ねじれ国会などで改革もなかなか進まないのはご存知の通りです。残念ながら日本の政治に対する世界各国の信頼が失われつつあります。他国と比べて長所の数は同じくらいなのに、短所の部分が極端に悪いようです。日本では僕約や綱紀粛正など小手先の対策が多く、世界最先端の社会を目指す気持ちが弱いのと、改革を避けているのが長期低迷の原因と結んでいます。

要するに世界を知り己をよく知れば、これからの方針がしっかりと見えて来るという訳です。誇るべきわが国の長所をさらに伸ばし、遅れているところや弱い部分を克服するために、真剣な決断と実行が必要な時期に来ていると感じます。福祉という字の福も祉もさいわいを意味していますが、誰もが暮らし易さやさいわいを感じ取ることの出来る社会環境を目指して、皆で努めて行く時ではないでしょうか。今年もサマーフェスタで頑張りましょう。

千鳥福祉会後援会
総会日が決まりました。
・日時/5月10日(木)16:00~
・場所/センターひまわり
後日、封書にて改めてご案内
申しあげます。

10年間のみんなの支えをもとに 11年目は、これから…



一つ一つの節目

千鳥福祉会後援会
副会長／伊藤 立身
和幸株式会社 監査役

千鳥福祉会様並びに後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も皆様方によりまして幸多き一年と成りますよう心からお祈りを申し上げます。

昨年は、年初の山陰地区的豪雪、3月の岩手県沖の地震と津波、9月には近畿地方の数々の台風により、私達は自然の力の脅威という戒めと洗礼を受け、各地に大きな被害がもたらされました。

そのような状況の中で、「未曾有の悲惨な状況にも挫けないで!」との思いを込めて、5月に「千鳥福祉会後援会10周年記念事業」、7月には「東日本大震災復興支援サマーフェスタ」と謳って、記念すべき節目の「第10回千鳥福祉会サマーフェスタ2011」を開催することが出来ました。皆様からのご支援とご協力を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げるとともに心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

岩手県沖の地震と津波は、東日本大震災という名稱になり、今なお復旧・復興に向けた対策が講じられ、対応されている状況が毎日の報道から伝わってまいります。東日本大震災の被災対策、放射能除染対策という難題が、将来に向けて大きく立ちはだかっているように感じられます。その厳しい環境の中での国民の「人道支援」は、国際的にも類を見ない「日本農耕民族精神」の助け合いのところから生まれているのが、情報番組からひしひしと伝わり、日本人は本当に素晴らしい精神(こころ)を持っていると感じています。この「こころ」は、皆様と共に実施する「千鳥福祉会サマーフェスタ」の開催にも共通しており、繋がっているものと確信しております。お陰をもちまして10回目という大きな節目の各事業を、盛大に執り行う事が出来ました事に心から感謝致しております。

人々には色々な節目があると思います。皆様にもいろいろな節目があり、その節目となつた時を契機に、将来に向けた思いを描き、一つ一つ明日へと向かって進まれる事を願っております。私もここ数年のところでいろいろな節目を迎えました。その節目々々を常にプラス志向に思いを施し、日一日と実践していき、今後の「ライフスタイル」を楽しみたいと思っております。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。



「絆」

千鳥福祉会後援会
副会長／長嶺 幸恵

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

昨年、当福祉会におきましては、10周年を無事迎えることができました。

また、サマーフェスタも天候に恵まれ、大勢の方々のご来場をいたさ、大盛況のうちに終えることができました。これも皆様方のご協力、ご支援があればこそと、厚くお礼申しあげます。

しかし、昨年は例年ない大雪にはじまり、正月中、雪かきにおわされた方も多かったと思います。どんな年になるだろうかと思った矢先、東日本大震災が起き、原発事故、紀伊半島豪雨と災害が次々と起こり、近年に多くの犠牲者と大損害が出ました。

私も、親近者の急死、そして実母の癌の大手術と、次々と不幸かつ心配な出来事が続きました。こんなにも最悪なことばかり続く年があるのかと嘆くばかり、何もなければ感じないことですが、当事者になって、周りの人たちが親身になって心配してくれたこと、温かく見守ってくれたことをありがたく感じました。改めて、人と人との絆の大切さを知りました。

心中で打ち明け、何でも語り合う間柄は喜びを倍増させ、悲しみを半減させてくれます。日頃より、心と心を結ぶ付き合いを心掛け、絆を深めていきたいと思います。

そして状況が困難であればあるほど奮い立ち、不屈の心で前進していきたいと思います。

仏法に「大悲おれば大善きたる」「冬は必ず春となる」とあります。必ず良い方向に向かうと信じ、今こそは良い年になるよう願わざにはいられません。みんなで幸せになります!

皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。



「この時代を生きるために」
千鳥福祉会後援会
理事／佐藤工三子
(有)司建設常務取締役
平成24年の年明けを迎えた。皆様方には、お元気で新たな希望や目的持てる辰年の始まりであることを心からお祈り申しあげます。

早くも2月に入り、連日の寒波と大変なニュースが次々と飛び交っています。その頃私は、寄る年波のせいか、流れ行くまさにたどり着くところへと諦めの気持ちになりました。ただ、不思議と昔誰もが貧乏だった頃の思い出は嬉々として鮮やかに甦って来ます。近隣の人が一緒に助け合って働き、一緒に楽しんだ祭りや遊びに情景…子供の私達も作業や家事を手伝って働く喜びを知り、貴重な体験でした。そんな懐愁に浸る時、心は青春です。先輩にこの内なる思いを話したところ、それは「温故知新」だと素晴らしい助言をいただきました。どうか、本当にそうありますように頑張っておりま

さて、経済はその後程繁榮し、貧乏が貧美称賛された一つの時代を通して今日ここに来て、疲弊と行き詰った世の中…。零細企業には研究開発などの余裕はほとんどありません…。

我先にと出番を競つた時代の峠を越えた今こそ原点に立ち返り、周りの人皆さんと協力しながら「会社と社員の暮らしを守る」その基本原則が事業者一番の責務と決意を新たにすることです。

すでに古い言葉ですが、質素、僕約、もったいないを忘れずに先ずは、安全と健康、急がば廻れと丁寧に、荒涼の時代を乗り越えたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

「思いやりと忍耐する心」
千鳥福祉会後援会
理事／野津 瑞江
(株)神谷鉄筋常務取締役

今年は近年なく大雪となり、いつもながら人間は、自然の力には適わないものだと感じています。

昨年は、震災や福島県の原発事故で大変な年となりました。原発については詳しくありませんが、原子力発電所がそこに存在するだけで決して安全ではないことを認識させられました。

今更ながら、原発事故が起きてしまった今、人間の力では制御できない物を作ること、核廃棄物をこの先何万年にも渡って、人間が管理しなくてはいけない物を作ったことは、何か自然に逆らったことのよう気がします。そして、天災等の大きな力の前では、「自分の身は自分で守る」ことができず、改めて人間は無力だと感じました。

今年は例年ない大雪にはじまり、正月中、雪かきにおわされた方も多かったと思います。どんな年になるだろうかと思った矢先、東日本大震災が起き、原発事故、紀伊半島豪雨と災害が次々と起こり、近年に多くの犠牲者と大損害が出ました。

私も、親近者の急死、そして実母の癌の大手術と、次々と不幸かつ心配な出来事が続きました。こんなにも最悪なことばかり続く年があるのかと嘆くばかり、何もなければ感じないことですが、当事者になって、周りの人たちが親身になって心配してくれたこと、温かく見守ってくれたことをありがたく感じました。改めて、人と人との絆の大切さを知りました。

心中で打ち明け、何でも語り合う間柄は喜びを倍増させ、悲しみを半減させてくれます。日頃より、心と心を結ぶ付き合いを心掛け、絆を深めていきたいと思

います。そして状況が困難であればあるほど奮い立ち、不屈の心で前進していきたいと思います。

今年もよろしくお願いいたします。



「笑顔・上機嫌ビーム!」
千鳥福祉会後援会
監事／青山まゆみ

2012年を迎え、早くも2月が逃げようとしています。先日、道端にふきのとうを見つけ、春は少しずつ近づいて来ていると実感しつつも毎日寒い寒いと無意識に口にしています。そしてまた夏祭りの頃には、暑い暑いと叫ぶ日が来るのです。

ところである本にあった文章を紹介します。ある宅配便のお兄さんがハードな仕事にもかかわらず、いつも見ている側が気持ちよくなるような笑顔で楽しそうに仕事をしている事で、みんなが元気をもらっている。ひとりの人間は家族や友達、知り合いなど約300人と深いつながりをもって生活しているのだから。だから、自分の言動で300人に直接影響を与えることができる。その一人ひとりがまた別の300人とつながりをもって生きているから300人×300人で、すぐに9万人にも影響が及ぶ。また、ゲーテの言葉で「人間の最大の罪は、不機嫌である」と。人生を不機嫌に過ごすと、そのビームが9万人に及んでいくことになる。だから、今日一日上機嫌で身近な人に接しましょうとありました。

今年の私のテーマは「笑顔・上機嫌ビーム」でいきたいと思います。夏祭りもみんな笑顔で11年目が無事終えますように。

ちなみに、王様文庫のあわせの「スイッチ」571円から文章をお借りしました。ぜひ読んでみてください。おすすめです。今年もよろしくお願い致します。

「新年雑感」

(株)島根東亜建物管理
取締役相談役 林 悟

昨年は、大災害金融不安円高・貿易問題・電力不足と大きな出来事が次々と起き、不安を煽るニュースに事欠かない年でした。

昨年は、震災や福島県の原発事故で大変な年となりました。原発については詳しくありませんが、原子力発電所がそこに存在するだけで決して安全ではないことを認識させられました。

年が明け、辰年となりました。平常であれば昇竜で飛躍の年を期待しますが、政治、経済、福祉、世界情勢、商売などをとっても重荷を背負っての船出となりました。一体何がそのようにさせているのでしょうか。私たちはグローバル化の中、すさまじい変化の時代を生きています。すべての分野で絶えず変革を考え、進化・創造していくかねば停滞する世の中です。少子高齢化、温暖化、水、食料の問題もあります。パソコンや携帯の普及により流通、情報の取り方も大きく変わってきています。今こそ金のある人はお金を、知恵のある人は知恵を、汗のかける人は汗をかけて國のスタイル、生活のスタイルを変える必要があるのではないかでしょうか。富もうと思えば日々の精進と、求めるにはまずは与えることをしなければ富をつかむことができないと先人が教えていました。年齢に関係なく頑張れる人は頑張って、頑張れない人は物事を前向きに考え、日々無事で過ごせることに感謝して暮らすことと思っています。

震災・原発で被災された皆様の苦が一日も早く取り除かれ、楽が与えられますよう祈念し、皆様のますますのご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「正月の三が日に毎年していること」
中国生産性本部西川三佐子

正月の三が日は、自分の1年の目標をたてるようにしています。新年の挨拶をしている時も、おせち料理を食べている時も、親族でワイワイと話が盛り上がっている時も、頭の片隅には、「今年1年、何をめざしていくかな」と考えています。3日間ぐらい、そのことについて考えていると、自分の中で徐々にやりたいことが言葉になっていきます。

企業に、ミッション(使命)・ビジョン(将来のありたい姿)・価値観があるように、自分の人生にも、ミッション・ビジョン・価値観をつくっています。正月にたてる1年の目標は、ビジョンという長期の人生の目標に近づくために、今年1年にめざす目標だと私の中では位置づけています。

しかし、以前は、1年の目標をつくることができませんでした。なぜなら、その基盤となるビジョン(自分の将来のありたい姿)が描けなかったからです。どうして、描けないかというと、「何をするべきか?」は考えることができても、「何をしたいのか?」がわからなかったからです。

会社に属し日々を過ごしていると、会社から与えられる目標に急かされ、「何をしなければいけないか」に追われてしまいます。そして、その思考回路が自分を覆うと、そのうち、自分がしたいことを考へることすらしなくなってしまい、本当に自分がしたいことがわからなくなってしまいます。

ある時、自分の人生なのに、自分がどうしたいのかわからんなんて、悲しいと思いました。だから、私は、自分自身に問い合わせました。「本当は何がやりたいの?」と。

今は、おかげ様で自分のしたいことを見つけています。それを見つけてわかったことは、自分の人生を自分で操縦している感覚があるということ、そして、やっていくことに意味を感じ、やる気も湧いてくるということです。時間管理も以前ができるようになりました。今年も、会社のビジョンと自分のビジョンが重なる部分に、自らが決めた1年の目標を置いて、頑張っていきたいと思います。



「大切に思うこと」

新和設備工業(株)
代表取締役小玉 隆夫

昨年、3月11日に東日本大震災がきました。被災者の皆様に深くお見舞い申しあげます。また、台風12号が山陰地方を直撃すると予測されました。大きな被害もなく通り過ぎ安心しました。

昨年、管工事協会で東北地方に視察研修を行きました。目的は被災地の状況と観光地でのいかかの支援をするためでした。特にライフルの復旧がどんなに大切か阪神淡路大震災の時もそうでしたが今回も強く感じました。

マスコミ等で嫌といふほど報道された津波の恐ろしさが頭から消えないうちに、私達を乗せた観光バスが南三陸町に入るために越えました。目の前で見た後景は悲惨なものでした。この地で多くの尊い命が失われ、中には将来に大きな夢を持つ幼い子供達が沢山おられたと思い、我が身に置き換えた時、今の孫達がいなくなる事を考えただけで、言葉には言い尽くせない深い気持ちになりました。

近年、地球温暖化によると思われます予期せぬ災害が多く発生しています。私達の大切な仕事の一つに低炭素社会を作ることがあります。省エネ対策には企業が行う大きい事も大切ですが一人一人が気のついた小さい事をこまめに実行すれば、その成果は大きな実績になると感じます。その事が孫達に住み良い生活環境を残す事にもつながります。皆さんと共に頑張りたいと思います。

私が千鳥福祉会とお付き合いさせていただいだのはサマーフェスタに客として参加した時です。会場一杯の参加者、障害を持たれた人達の明るい笑顔、そして職員の皆様とボランティアの人達の前向きで元気のある接客態度など多くの事に驚かされました。それからは社員の方々は元より私も楽しめに参加させていただき、元気をいたしました。

障害を持つ皆様を手厚く援助される姿には敬服いたしますが、政治がもう少し手厚い支援すべきと考えます。中でも山本理事長様が五百歳まで生きると言われた言葉の中に、気長に五百歳まで生きるような考え方でないとこの仕事はできないと聞き、感銘を受けました。

何時も笑顔の理事長さんはすがトップの立場には多くの辛い事があると推察致します。それを笑顔で乗り越えられる理事長様のように私もなりたく、日々努力の足りなさを痛感しています。

私も運転を怠り前に過ぎましたが皆様から元気をいただき頑張りたいと考えていますのでよろしくお願いします。

終わりに今後の千鳥福祉会様の発展と、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、今年も元気ある楽しいサマーフェスタに参加しましょう。



「感謝の気持ちの表現について」

松江土建(株)
営業課長古田 孝夫

私事で恐縮ですが、私にはハハ歳になる父が介護施設に入所させて頂き介護支援を受けており、大変感謝しております。千鳥福祉会

様に関わるを持ちました6年前には父は何の障害もなくごく普通に生活していましたが4年前より支援を受けないといられない状態になりました。施設の職員様方から優しくて丁寧な介護をして頂き家族は大変感謝しております。在宅であればともに今の状態が維持できではないであろう家族で話しかけてあります。

障害が生じて介護支援を受けないといけない家族を持たない施設やそこでお世話を頂いている職員の方の有り難みは分からぬと思います。とても大切な仕事で「感謝」の一言で済ませる事が出来ないと同時に私は思っています。でもこの私達家族の気持ちを全ての方がお持ちでないと言ふ事を聞いてはおりますが私にはそれが理解出来ないところあります。自らが出来ない事をしていただいている事には何事にも「感謝」をすべきであると私は考えております。

以前からTV等で報道されていますが学校の給食を食べる時に「いたたきます。」と言うのはまだという保護者がいるそうです。理由は給食費を納めているのだから料理を出されて食べるには当然であり、「感謝の言葉」を言う必要はないと言っているそうです。私はTVに向かって文句を言いました。それを言っている保護者もどうかと思いますが言わせるように育てたその親もいるのですよね。何時どんなどきにも「感謝の気持ち」「素直に有り難うと言える気持ち」を持ち続けたいと思います。

地域社会の中で障害者とのふれあいがこのような声掛けから始まり、やがてはお互いの心の融和と理解が深められ、コミュニティの和が広がることにより自ずと福祉社会、理想とする地域社会が生まれてくるのではないかでしょうか。

幸いにして、千鳥福祉会グループにおかれましては、サマーフェスタ、運動会などの行事を通じて地域に溶け込んだ活動を積極的にされていますが、このような活動を積み重ねることにより地域の方々の一層の理解が深まり、やがて障害者の自立支援への道へと繋がりが期待されるところあります。

双葉タクシーもささやかではありますが、サマーフェスタには毎回、各駐車場と会場を結ぶ運営に協力させて頂き、円滑な運営に協力させて顶いていますが、今後とも、後援会の更多的拡充が図られ、地域と一緒に、より活発な活動が展開される事を願うものであります。

「小さなふれあい」

双葉タクシー(株)
代表取締役社長 横山 正二

去年の東日本大震災では多数の死傷者及び行方不明を出し、自然の威力の前に人間の無力さをさまざま見せつけられました。そんな中で地域の方々が高齢者や障がいがある方々に対し、身